

# 県内外から注文続々

## 盆栽サクラソボ 出荷始まる

江 河 憲

み、早くも県内外に出荷されている。価格は様々だが、実の割合にもよるが、ちよつとしたもので一はち二千円から三千円、自動車のトランクに入れて手軽に運べることもあって山形を中心に買ひにやってくる人が多い。

盆栽サクラソボの出荷が始まった。さくらソボの産地、栗河は市の農家が三年前から作り出し始めている。栗河、栗原と収穫の高じが受けとてちよつと出足は好調といふ。

この盆栽サクラソボは阿部三郎地区のサクラソボ農家が近からの盆栽ブームに目を付けてサクラソボの盆栽仕立てを始めた。栗河五十坪以内の、ミニ・サクラソボの産地に成功して売り出した。

こゝでは鉢部費一さだか、初産期は盆さくらソボがサクラソボ栽培の各間に盆栽づくりを行ない、開花までは盆さくらソボを出荷する。既にほろ揃えされたサクラソボにはゆかないもので五、六個、多いものは四、五十もの集が揃き、盆さくらソボの出た。

盆栽サクラソボは阿部地区にやつてくるサクラソボ農家の盆さくらソボ用として多く買っていくが、県内外の出産者の引き合いのほかに

類には高値である。栽培時、三年八割の割合、愛護を授けヨーロッパ各国を称した。再販されている。学校の競争事業、そのインフラッシュを現在に製して父兄の熱意が注ぎ込まれる。国際的な視野を広げてきてくる。学力に応じたことに。備蓄された。知識と教養を身に付けてほしい。先づ自ら高めるための自己投資。しばしばは生活に直つてくる。

市内中学校ではトップレベルにあるサクラソボの産地だ。実が、盆さくらソボにはよく、使つて盆栽にはよく



実も色づき始めた盆栽サクラソボ